



秋葉神社における浜松のお茶の熟成について

浜松市の茶業振興を目的とした「浜松市茶振興協議会」では、浜松のお茶のブランド化を目指し、平成27年に「秋葉山熟成茶」を開発しました。

熟成茶は、茶葉を適切な環境で貯蔵することで、茶葉の香り・旨味が変化することが特徴です。標高が高く、気温・湿度の変化を受けにくい秋葉神社は熟成に非常に適しています。

今回浜松市茶振興協議会は、下記のとおり秋葉神社に熟成させる新茶を奉納、保管を開始します。熟成は10月頃まで行われ、今年で12回目の秋葉山熟成茶となる予定です。完成後には秋葉神社での販売を始め、参加者による販売やイベントの実施等を通してPRをしていく予定です。

記

日時 令和8年6月11日（木）

午前10時00分～午前10時30分 熟成用新茶奉納

場所 秋葉山本宮 秋葉神社 上社（浜松市天竜区春野町領家841）

参加者 ・市内お茶生産者・販売者（浜松市茶振興協議会ブランド化推進グループ）

まるたま製茶、カネタ太田園、春野の精 栗崎園

※今回は販売会は行いません。



【昨年の様子】